| | |
|---|---|
| 事例No. | 1894 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 町村 |
| 団体名 | 静岡県小山町 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・電気事業<br>・公共施設活用<br>・適切な資産管理 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | その他 |

事例内容・タイトル

木質バイオマス発電によるエネルギーの地産地消

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

# 【静岡県小山町】
# 木質バイオマス発電によるエネルギーの地産地消化

その他　電気事業

静岡県小山町フロンティア推進課

## 取組の概要

再生可能エネルギー資源の有効活用を図り、循環型社会の実現を目指すため、木質バイオマス発電の稼働を開始した。

**◆総事業費**　工事費263,550千円、 委託料41,059千円

**◆背景**

- 小山町は、林地間伐による残材の賦存量が年間約1.4万tあるが、それらを木質ペレットやチップ等に加工した際の有効活用が課題となっていた。
- この課題を解決するため、固定価格買取制度を活用した発電用燃料としての利用を図ることとした。

**◆具体的内容**

- 「富士山麓における地域産業の振興とバイオマス活用拠点の形成」地区として、内閣府の地域活性化総合特別区域の指定を受け、木質バイオマス発電所建設事業を実施した。
- 町内の木質ペレット工場にて製造された木質ペレットを使用する木質バイオマス発電所を建設し、固定価格買取制度による売電を開始した。

**◆効果**

- 木質ペレットの需要が増加し、再生可能エネルギー資源の有効活用が図られた（平成26年度 1.11t→令和3年度 2.25t）。

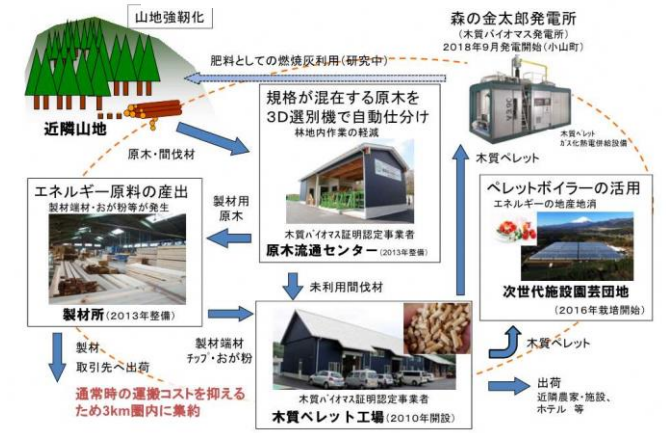
## 取組のポイント

- 設計委託料、工事費等の財源を確保するため、ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金を活用した。
- 小山町材をアピールするため、発電施設を木造とし、地元木材である「富士山－金時材」を使用した。
- 稼働率を上げるため、ペレット材料の配合調整や強度試験等を随時実施し、設備点検や清掃を定期的に実施している。また、インターネット回線を使用し遠隔地からも常に設備状況を把握し、エラー時にも迅速に対応している。

## 公営企業情報

- 行政区域内人口　17,836人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　135.74km$^2$（令和4年1月1日時点）
- 年間発電電力量　238MWh（令和3年度決算）

地域循環型林業構築イメージ




## 取組のスケジュール

- 平成25年度に地域活性化総合特別区域の指定を受けた。
- 平成30年9月に木質バイオマス発電所完成。
- 平成31年3月から売電開始。

## 今後の展望

- 実施が未確定となっている売熱事業を早期に実施し、安定した財源確保に努める。
- 地域での農林業等と合わせた多面的な取組へと本事業の位置付けを高め、関連する事業の充実を図る。また、環境学習を通じた次世代人材育成や林業者の雇用拡大へつなげる。